



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030
伊原 忠 ☎047-488-7207
飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党
八千代市議団
ホームページ
<https://jcp-yachiyo.jp>



日本共産党八千代市議団メール：kyousan@jcp-yachiyo.jp

第679号

2025年9月22日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

「不幸な歴史」を二度と繰り返さない

日本共産党市議団は、9月13日(土)に高津山観音寺で行われた関東大震災102周年慰霊祭の参拝供養に参加しました。

1923年(大正12)9月1日、関東大震災時に軍隊と警察によって「朝鮮人が暴動を起こしている」、「井戸に毒を入れている」という流言・飛語(陰謀)が流され、多くの朝鮮人が自警団などによって虐殺されました。この時の犠牲者は5000~7000人とされています。



高津観音寺の鐘楼堂

八千代市でも地域住民による虐殺の事実があり、遺骨を埋葬率し供養を行っていました。観音寺の住職の協力で今の地に埋葬され、今日に至ります。間違った歴史を二度と繰り返さないために次世代に繋げなければなりません。

しかし、日本政府は詳細が明らかでないと言い逃れをして、この歴史的事実を認めていません。謝罪のないところから真の平和と友好は生まれません。

真実に迫る中学生の調査研究

戦前には権力の隠蔽の下で研究が行なわれず、初めて学問的研究が行われたのは1958年です。八千代市の歴史の真相は1976年、習志野市立第四中学校の郷土史クラブの活動がきっかけです。

生徒たちは、「地域で隠され続けてきたことをみんなに知ってもらうことが、この人々の供養になると思う」「ほっとけなかった」と語ったそうです。また、指導教員の平形千恵子さんは「住民たちが殺したというのは、望んでやったのではなく、殺さざるを得なかったため」と語っています。

当時は、習志野の陸軍から俘虜を払い下げるから引き取りに来いという命令を拒否することは出来ませんでした。拒否したら国賊・非国民扱いは免れません。こんな歴史は二度とあってはならないことです。

差別・排外主義を許さない民主主義の力を

中学生の研究が日本の歴史を明らかにしたように子どもたちの素直な心は「差別」に敏感です。成績やスポーツが優れている等で子どもの優劣を計る価値観で良いはずがありません。子どもたちは一人ひとりが大切にされる社会を望んでいます。「日本人ファースト」や排外主義が日本に差別を持ち込んでいます。

子どもたちは世界中の子どもたちと安心して交流できる社会、そして戦争や差別がない世界を望んでいます。そんな世界や地球にするために今こそ大人が頑張る時です。日本共産党市議団は国民的・民主的共同を目指して頑張ります。